

6ページでわかるブラドリウム（設定編）

Q：この世界はどんなところ？

A：ヴァンパイアの〈領主〉が、望むがままに作り上げた〈領地〉を支配している世界。

〈領地〉は支配する者によって現代そのものだったり、中世だったり近未来だったり不可思議な空間だったりします。

Q：〈領地〉って何？

A：この世界はとっくの昔に滅びてしまっています（人々はそんなことも知らずに生きていますが）。

そんな荒野の世界に、ぽつんぽつんと存在しているのが〈領地〉と呼ばれるヴァンパイアが支配する都市や地域です。

ヴァンパイアは自身の〈領地〉を自在に作り変えることができる上に、領民の精神を支配することもできます。

現代日本的な〈領地〉もあれば、19世紀風の〈領地〉、近未来のディストピアな〈領地〉もあり、支配者たるヴァンパイアの〈領主〉の願いや欲望が反映されています。

ちなみに、〈領主〉が消滅すると、〈領地〉は崩壊してしまい、住人は何もない荒野に投げ出されてすぐに死んでしまうでしょう。

Q：どんなキャラクターで遊べるの？

A：ヴァンパイア、騎士、リライターで遊べます。

ヴァンパイアとはこの世界を支配する者たち。

人間の血液が定期的に必要な代わりに、世界を書き換えるほどの強力な力、〈黄昏の血〉を持ちます。

騎士とはヴァンパイアを狩るべく、人体改造を施した者たち。

〈騎士機関〉という微小な機械を体内に持っており、それによってヴァンパイアに対抗しうる強力な戦闘能力を持ちます。

リライターとはヴァンパイアの天敵であるがゆえに、その命を狙われている者たち。

ヴァンパイア亡き後、本来なら消滅する〈領地〉を引き継ぎ、己の意志で作り変えることが可能なため書き換える者と呼ばれます。

Q：ヴァンパイアって何者？

A：人間の血を吸る怪物にして、世界の支配者。

血を吸うこと、〈黄昏の血〉を持つことのみが共通点であり、その思想や支配する〈領地〉のあり方はヴァンパイアによって大きく異なります。

彼らが人間の血を求めるのは、己の魂——《フラグメント》を、ある事件によって失ってしまったから。

それゆえに、他者の《フラグメント》を求め、血を吸うのです。

また、伝承にあるような、日光や銀の武器、ニンニクに弱いなんてことはありません。

血を吸わねば灰になることを除き、弱点は存在しません。

Q：ヴァンパイアになって吸血したい！ どうやるの？

A：あなたがこの地の〈領主〉なら、領民はあなたのオモチャも同然です。

あなたの支配は完璧なものであるため、好きなシチュエーションで、好きなように、好き放題に吸血できます。

あなたが〈領地〉の外から来ていたり、どこかの〈領主〉ではない野良ヴァンパイアだった場合には、吸血対象に騒がれないよう魅了の力を使ったり、力づくで吸ったり、眠っているところを襲ったりしましょう。

魅了とか証拠隠滅とか本当にできるの？　と思うかもしれませんが、〈黄昏の血〉は世界を書き換えるほどの強力な力なので心配ご無用です。

存分に吸ってあげてください（ただし、他人の〈領地〉なら控えめにしましょうね！ バレちゃいますよ！）。

Q：騎士って何者？

A：騎士とはヴァンパイアを滅ぼすために〈騎士機関〉という機械を体内に取り込み、人間を超越してしまった者たちです。

超高速で動き、ヴァンパイアにも劣らぬほどの力を発揮できますが〈騎士機関〉を他の誰かに〈継承〉する前に命を落とすと、大災害を引き起こす怪物になる可能性も持っています。

騎士はすべてのヴァンパイアを滅ぼし、現在の歪められた世界を終わらせることをその使命としています。

Q：騎士になりたい！ 人間を辞めたい！

A：〈騎士機関〉という極小の機械、いわゆるナノマシンを体内に取り込みます。

注射器型の装置で投与するのが基本です。

引退を考えていたり、死に瀕している状態の騎士から〈継承〉するのがよくあるパターンでしょう。

瀕死の重傷を負ったあなたを助けるために、他の騎士が〈騎士機関〉を与えてくれた、という場合もあるかもしれません。

Q：リライターって何者？

A：近年出現しはじめた、ヴァンパイアが滅びた後の〈領地〉を受け継げる——ヴァンパイアからすれば乗っ取られる存在です。

彼らは〈次なる黎明〉という、小規模ながら世界を書き換える能力を持っています。

大半のリライターは、ある日なんの前触れもなく「この世界、なんかおかしくない?」と気付くと同時に、この力を手に入れるようです。

自分以外の誰もがヴァンパイアに支配されていながら、それを自覚していないという歪さ、〈領地〉の外側を誰も認識していないという違和感、血を吸われても抵抗すらしない他者の姿は、リライターとなった者からすれば異様な光景に映ります。

ライターにはヴァンパイアの支配が及ばなくなるため、こうした認識の変化は周囲から「急に行動がおかしくなった」と思われがちです（そして、その挙動不審さゆえに〈領主〉にバレます）。

そして、ヴァンパイアにとっては自分の〈領地〉を奪いうる脅威となるため、最優先で命を狙われてしまいます。

Q：フラグメントって何？

A：あなたの魂、そして存在理由そのものです。

魂とは、即ち生命の設計図のようなものです。

こういう構造で、こういう形をしていて、といった生命体としての設計図から、こういう性格で、こういう思い出があって、こういうものを大切にしている、といった個人的要素まで、あらゆる「あなたを示すもの」を《フラグメント》と呼んでいます。

これはヴァンパイアや騎士、この世界の実情を知った後のライターたちが用いる用語で、一般には知られていません。

Q：みんな仲良くできないの？ 平和に暮らせない？

A：不可能です。

ヴァンパイアはライターを滅ぼしたいし、騎士はヴァンパイアを滅ぼしたいし、ライターは生き延びるためには戦わざるをえないからです。

こうした敵対関係を、古い慣習から〈徒花^{あだばな}〉と〈剪定者^{せんていしゃ}〉と呼んでおり、〈徒花〉とは滅ぼすべき対象として認定されたことを、〈剪定者〉とはその〈徒花〉との戦いに赴く者を指しています。

〈徒花〉認定された者から見れば、〈剪定者〉たちこそ〈徒花〉であるとも考えることもあるでしょう。

Q：ライターはどうやってヴァンパイアに対抗するの？

A：強力な戦闘能力を持つヴァンパイア、騎士と異なり、ライターは基本的には人間と大差ない力しか持っていません。

それゆえに銃火器を頼るのが手っ取り早い手段でしょう。

銃火器の入手は、ライターからすればとても簡単なことです。

ライターの〈次なる黎明〉という、世界を少しだけ改変する力を使えば、警察署から拳銃を盗むのも容易ですし、何なら何もないところから銃火器を作り出すこともできるでしょう。

そして、力の扱いに慣れてきたなら、ライターは自身やその周囲を書き換えることで、超能力者のような戦いもできるようになっていきます。

Q：騎士ってことは、鎧を着たり、剣を振るったりするの？

A：この世界の騎士とは、ヴァンパイアを狩るために〈騎士機関〉を取り込んだ存在のことを意味しています。

それ以外の様々な要素——衣装や武器——は、それぞれの好みによるところが大きいです。

基本的にはヴァンパイアを殺すために侵入する〈領地〉の文化に合った装いで正体を隠して行動をすることになります。

中には隠れ潜むこともなく、堂々と好みの装束のまま〈領地〉に乗り込み、ヴァンパイアを蹂躪して去っていく者もいます。

一方、武器は基本的に剣や槍といった近接武器を用います。

銃弾を目で追うことができ、銃弾より速く動けるなら、銃火器を使うより直接攻撃にいった方が強いですからね。

Q：騎士とライターは仲間なの……？

A：協力関係にあることが多いです。

騎士はヴァンパイアを殺すことを目的とし、ライターはヴァンパイアに命を狙われているので、戦うしかありません。

共通の敵をもつ者同士ですから、協力をすることができます。

また、ライターとなったばかりの者は戦闘に不慣れたため、騎士が保護することもよくあります。

Q：ヴァンパイアと、騎士やライターは共闘できる？

A：ヴァンパイアの中には、ヴァンパイアを殺す者がいます。

また、騎士やライターに積極的に助力する者もいます。

そうした存在なら、共闘も可能です。

とはいえ、騎士からすれば「協力的だから殺すのは最後にしてやる」という認識なので、最終的には争うことになるかもしれません。